

貴重な種類も「ゾクゾク」登場!! 「深海生物」展示状況のお知らせ

伊豆・三津シーパラダイス（住所：静岡県沼津市、支配人：植田行宏）の水族館棟「魚の国」は、伊豆の川から始まり海へとつながる展示構成で、奥のエリアは駿河湾の深海生物を展示する水槽が並びます。これらの深海生物は、主に駿河湾での底引き網漁や、釣り採集などで入手した個体です。今期も3月～4月にかけて底引き網漁に飼育員が2回乗船するなどし、新たに珍しい種類の深海生物を採集しました。

現在まで展示を継続している深海生物の中には、長期飼育が困難で展示も稀な種類も複数あり、また深海生物の展示エリアも年々充実しておりますので、こちらも含せてお知らせします。

記

1. 展示場所 水族館棟「魚の国」内 深海生物展示コーナー
2. 展示生物 水族館での展示が珍しい種類や、長期飼育が困難な種類を下記にてご紹介します。
※生物の状態により、急きよ展示内容が変更となる場合があります。

①今期新たに入手した、展示されることが珍しい種類として

- ・ハナナガソコホウボウ（全長約12cm）
2022年3月 駿河湾での底引き網漁船に飼育員が乗船し入手
漁獲自体が稀で、生きた状態での展示は極めて珍しい
- ・オカダシンカイコシオリエビ（全長約8cm）
2022年4月 駿河湾での底引き網漁船に飼育員が乗船し入手
長いハサミ脚を持つが、体は小さく、状態良く採集されることが少ない
- ・ヒゲナガチュウコシオリエビ（全長約10cm）
2022年3月および4月 駿河湾での底引き網漁船に飼育員が乗船し入手
長いヒゲを持ち、体が平べったく、状態良く採集されることが少ない



ハナナガソコホウボウ



オカダシンカイコシオリエビ



ヒゲナガチュウコシオリエビ

②現在まで展示を継続している、長期飼育が困難な種類として

・シロカサゴ（全長約 15cm）

2020年2月 駿河湾での底引き網漁船に飼育員が乗船し入手
状態良く搬入することが難しく、水族館での展示も稀な種類

・クラゲイソギンチャク的一种（体の幅約 15cm）

2020年1月 飼育員が水深約 500mから釣りにて採集
状態良く採集されることが少なく、生態についても謎が多く、分類も定まっていないとされる

・ホンフサアンコウ（全長約 25cm）

2019年5月 駿河湾での底引き網漁で漁獲された個体を入手
状態良く採集されることが稀で、水族館での長期飼育の例も比較的少ない

・トゲハナスズキ（全長約 18cm）

2015年3月 釣りにて採集された個体を入手
状態良く採集されることが稀で、水族館での飼育、展示の例も比較的少ない

③その他の深海生物として、10年以上飼育している「オオクチイシナギ」（全長約 1.2m）や、個性的な外見のカニ「テナガオオホモラ」、幻の「ドフラインイソギンチャク」、沼津では「でんでん」とも呼ばれる「オオメハタ」など、深海生物展示コーナーでは全 45 種 180 個体（2022年4月25日現在）を展示



シロカサゴ



クラゲイソギンチャクの一種



ホンフサアンコウ



トゲハナスズキ



深海生物展示コーナー 全景

4. お問い合わせ 伊豆・三津シーパラダイス TEL.055-943-2331 (9:00~17:00)

以上